

種別	児童養護施設	定員	30 名
施設長氏名	油崎 均	所在地	新潟県
実施年度	令和5年度		
実施結果	【評価にばらつきがあった項目】 <u>共通評価基準 III-1-(4)-②</u> 35 こどもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、こども等に周知している。 <u>内容評価基準 A-2-(5)-①</u> A15 医療機関と連携して一人ひとりのこどもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。 <u>内容評価基準 A-2-(11)-①</u> A24 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。 【a 評価が多かった項目】 <u>共通評価基準 I-2-(1)-①</u> 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 <u>共通評価基準 I-1-(1)-②</u> 11 遵守すべき法令を正しく理解するための取組を行っている。 <u>共通評価基準 II-4-(1)-①</u> 23 こどもと地域との交流を広げるための取組を行っている。 <u>共通評価基準 II-4-(1)-②</u> 24 ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。 <u>内容評価基準 A-1-(3)-①</u> A3 こどもの発達状況に応じ、職員と一緒に生き立ちを振り返る取組を行っている。 【c 評価が多かった項目】 <u>共通評価基準 I-3-(1)-①</u> 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 <u>共通評価基準 I-3-(1)-②</u> 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		

	<上記項目について> 【a 評価が多かった項目】 <u>共通評価基準 I-2-(1)-①</u> 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている (判断した理由・特記事項等) 統計調査や新潟県児童養護施設協議会への参加。長岡市による定期的な監査が行われ、養育・支援に係るコスト分析が行われている。 <u>共通評価基準 I-1-(1)-②</u> 11 遵守すべき法令を正しく理解するための取組を行っている。 (判断した理由・特記事項等) 倫理ミーティングを不定期に開催し、法令遵守を喚起している。法令や倫理の遵守を常に会議などで発信している。 <u>共通評価基準 II-4-(1)-①</u> 23 こどもと地域との交流を広げるための取組を行っている。 (判断した理由・特記事項等) 主に小学校に関連した地域の交流、町内こども会の積極的な参加をしている。グラウンドを開放し、地域のこどもや児童の友達が遊べる環境である。 <u>共通評価基準 II-4-(1)-②</u> 24 ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。 (判断した理由・特記事項等) ボランティアの新規開拓や礼状対応などは適切に行われている。社会資源を絶やさないように文化を継続していく姿勢が見られる。 <u>内容評価基準 A-1-(3)-①</u> A3 こどもの発達状況に応じ、職員と一緒に生い立ちを振り返る取組を行っている。 (判断した理由・特記事項等) ライフストーリーワークを実施し、こどもの発達段階に応じてこどもの出自や生い立ち、家族状況について適切に伝えている。
--	---

	【c 評価が多かった項目】 <u>共通評価基準 I-3-(1)-①</u> 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 <u>共通評価基準 I-3-(1)-②</u> 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 (判断した理由・特記事項等) 単年度の計画については毎年改定しながら項目を分けて作成しているが、中・長期計画は不明確であり、策定に至っていない。 【総括】 こどもと地域との交流を広げるための取組については評価が高くなっており、児童が幅広い世代や地域の人々と交流することによって社会性を育み、施設が地域支援機能としての役割を位置づけることが望まれている。新型コロナウイルス感染症の影響によってこれまで制限されていた屋内での交流については、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に併せた対応が求められる。 こどもに対する心身の健康管理では、必要がある場合は医療機関と連携し、早い判断で適切に対応することで、こどもの安心につながっている。職員間の医療や健康に関する学習機会は不定期に設けられており、学習機会の充実によって、職員一人ひとりの適切な現場対応と医療機関との連携につながっていくと考える。
--	--